



養父市で進む食品支援の新しい取り組み

養父市社会福祉協議会は、農林水産省の補助を受け、買い物困難者や経済的に困窮している人へ、円滑な食品アクセスを確保するプロジェクトをすすめています。

発行者／養父市社会福祉協議会
発行日／令和8年2月13日



採れたて有機野菜が買える

小林たばこ総合会館

明延購買部の取り組み



かつて鉱山の町として栄えた大屋町明延区は、現在、人口約40人、高齢化率が70%を超える限界集落となっています。最寄りのスーパーまでは車で約20分かかるため、日常の買い物に不安を抱える住民も少なくありません。

そうした中、昨年6月に明延区・NPO法人但馬を結んで育つ会・コミュニティデザインラボ(宮崎県)・養父市社会福祉協議会が協働で、区内の空き家となっていたたばこ店を改装したコミュニティスペース「小林たばこ総合会館」をオープンさせました。そこでは地域の買い物問題解消のため、食品や日用品、有機野菜などを販売する“明延購買部”を開設しています。

現在、店番ボランティアの協力を得て毎週火曜日に開館しており、10~20人が来館し、買い物のほか、体操をしたり、カフェでお茶を楽しんだり地域の大切なつどいの場となっています。

来館者からは「買い物もでき、集まれる場所ができてよかった」と喜びの声が聞かれています。

また、明延の一元電車まつりなどのイベント時には多くの人でにぎわい、地域内外の交流の場としても注目されています。



地域のつどい場にコープこうべが出張!

お試し宅配体験会



昨年3月に養父市内全域で開催された地区福祉委員会では「地域の買い物問題について考えよう」をテーマにグループワークを行いました。行政区ごとに区長や民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員が集まり、区内に買い物で困っている人がいないか話し合うとともに、その解決策を考えました。

「普段から困ったことがないか声をかけあう」「地域で買い物ツアーを企画する」などの意見とともに、「**コープこうべによる宅配の利用方法を知ってもらう機会をつくる**」と話し合った区が多くありました。

これらの声を食品アクセス地域協議会で伝えたところ、コープこうべでは、以前から地域のつどい場に職員が出向き、宅配の利用方法を説明する「**お試し宅配体験会**」を行っているとのこと。体験会では、地域住民のつどいの場でカタログを見ながらの注文体験や、人気商品の試食などができそうです。“地域のつながりを守りながら、新しい買い物支援の仕組みを届けたい”との思いが込められた企画。区の行事やふれあい喫茶、元気にクラス教室の開催に合わせて利用してみませんか。

詳しくは

養父市社会福祉協議会本部
または下記の各支部まで
お問い合わせください。

- 本部・八鹿支部
養父市八鹿町下網場320
☎079-662-0160
- 養父支部
養父市広谷251-1
☎079-664-1142
- 大屋支部
養父市大屋町加保678-1
☎079-669-1598
- 関宮支部
養父市関宮193
☎079-667-3248



令和7年度 第2回

食品アクセス確保のための地域協議会を開催しました

令和7年12月23日、地域交流センター「福祉の杜」にて、令和7年度第2回食品アクセス地域協議会を開催しました。今回は、先進地である滋賀県長浜市社会福祉協議会の山岡伸次氏を講師に迎え、買い物支援と地域づくりの連携について学びを深めました。

研
修

安心して暮らせる地域づくり ～移動販売で取り組む買い物支援事業～

講師／長浜市社会福祉協議会 専門監
山岡伸次氏



長浜市社会福祉協議会 専門監 山岡伸次氏による研修とグループワーク

長浜市では、行政・地域・事業者・社協の4者が協定を結び、市内17地区214か所で移動販売を実施しています。移動販売の停留所は単に「買い物」だけではなく、「買い物」+「つながりの場」として人と人がつながる大切な場になっています。

移動販売を活用した

さまざまな取り組み



生活支援と見守り

欲しい商品が手に入るだけではなく、高齢者の安否確認や異変察知の貴重な機会となります。

居場所づくり

移動販売の場が交流の場となり、買い物の前後に住民同士がおしゃべりを楽しむ「居場所」へと進化しています。

健康づくりやスマホ講座との連携

市の保健師が移動販売車の時間に合わせて「健康づくり教室」を開催したり、企業が地域協議会と連携してスマホ講座を行うなど、他の事業との連携が盛んです。

グ
ル
ー
プ
ワ
ー
ク

「買い物困難者部会」と「経済的困難者部会」に分かれ、課題解決に向けて養父市で具体的に取り組めることについて話し合いました。

買い物困難者部会

- 移動販売と居場所づくりを組み合わせる。サロン開催日に合わせた移動販売の誘致や、移動販売の場で健康づくり教室を行うことで、交流、見守り、健康づくりにつなげる
- 買い物支援は地域の暮らしを支える大切な役割であることを福祉関係者、企業、地域が認識し、連携して支えていくことが重要



経済的困難者部会

- 地域住民のつどいの場で食品の寄附受付を実施
- 買い物やつどいの場に行けない人や、SOSを出せない人に必要な情報を確実に届けるしくみをつくる
- 支援が必要な方の人数や必要な食品量を把握し、どれだけ確保できるか検討するための協議会を立ち上げてはどうか



「買い物」を入りに、健康も、絆も、安心も。

～買い物支援は、地域をつなぐチカラへ～